

プロポーザル&リース方式による庁舎建設事例（青森県大間町）

取組概要

新庁舎等建設について、経済的及び効率的に整備を行うために、設計・施工後、事業期間中において本施設の維持管理（一部）を実施する方式（リース方式）により、公募型プロポーザルを実施し、施工業者を選定する。

取組の効果

建設方法を検討していく中で、リース方式を選択し更にプロポーザル実施により、中間マージン節減や工期を大幅に短縮することができた。

創意・工夫した点

財政的に厳しい中での新庁舎建設が可能な方法の検討

- ①経費の平準化（リース方式）
- ②構造の見直し（RC造からS造）
- ③工期の短縮（プロポーザルによる一括発注）

他団体へのアドバイス

財政的に厳しい状況下でも、リース方式にすることで単年度の財政負担が軽減されるので事業を実施する事ができる。

人口 5,482 人  
(H30.1.1現在)  
 担当 総務課



新庁舎完成予想図



先例地視察（宮城県松島庁舎）